

## 新しく会長に就任して

会長 相坂 国栄



同窓生の皆さまこんにちは。去る5月16日(土)に開催されました第9回同窓会総会におきまして、会長に選任されました相坂と申します。私は食物栄養学科の前身であります北陸栄養専門学院7回生です。長年、短期大学に勤めさせていただいておりましたが、昨年3月に退職し現在は非常勤講師をしております。

同窓会のことでは、ずっと回生委員はいたしていましたが、執行部のことは何もお手伝いができず、いつもお世話になるばかりで申し訳ない思いがありました。私は会長をさせていただくような器ではございませんが、前会長の森さんをはじめ、最初の役員の方々がご苦勞をなさって築いてくださいました土台の上に、新しい役員の方々と共に力と祈りを合わせて、少しずつでも積み重ねることができると思っております。そしてより一層の会員相互の親睦をはかると共に、愛する母校の発展のために寄与することのできる同窓会でありたいと願っております。そのため会員の皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

2008年度同窓会新入会員数は241名であり、現在の同窓生総数は15,579名であります。

三小牛キャンパスでは、過ぐる5月23日(土)に初めての試みとして、幼稚園児から大学生まで、教職員、保護者、同窓生など北陸学院に関係する多くの方々が集って「Enjoy!ミッション」が開催されました。さわやかな新緑の美しい自然の中で楽しいひと時を過ごすことができ、神さまの豊かな祝福に感謝いたしました。

また来年(2010年)は北陸学院創立125周年の記念すべき年であり、私共の短期大学部同窓会も一本化されて10年目を迎え、全体総会の年でもあります。総会の日程を2010年5月15日(土)と決定いたしました。どうぞ今からご予約に加えてくださり、多くの方々のご出席を心よりお待ちしております。

## 変わらないものに根ざして

理事長・学院長 楠本 史郎



来年、北陸学院は創立125周年を迎えます。短期大学設立から60年を数えます。この国に、それだけの歴史を積み重ねた学校は、多くありません。

金沢女学校の創立時から、ヘッセル先生を初めとする宣教師の方々の熱い思いがありました。当時の金沢は、東海側の名古屋と肩を並べる日本海側最大の都市です。加賀百万石の経済力と文化を誇ります。しかし他との交通は閉ざされていました。大阪や京都からの鉄道はなく、舟や徒歩に頼るほかありません。まして何百年も続く仏教文化の盛んな地域です。そこにキリスト教学校を建てるというのですから、じつに壮大な志です。しかし宣教師の方々は強い使命を抱き、金沢女学校を建てました。さらに自分たちの働きに固執せず、教会と日本人キリスト者、教育者たちに後を委ね、帰国していきました。こうして日本人によるキリスト教学校が生まれました。だからこそ、国家による厳しい教育統制にも耐え、建学の精神を守り通すことができました。

戦後の発展期にも、学院はこのことを忘れませんでした。多くの学校が経営のため、規模拡大に走り、キリスト教色を薄めます。しかし北陸学院は教会との関係を失わず、キリスト教教育の伝統を守り続けました。

学校の制度や組織などは変わりました。学院は、幼稚園から小学校、中学校、高等学校、そして短期大学部と大学までの一貫教育をおこなう、本州の日本海側で唯一の、私立総合学園となりました。今なお、建学の精神は健在です。毎日、学生が多数チャペルに集う光景は、変わりません。このキリスト教精神を中核に、新しい学院のあり方を探り求めています。

2010年9月11日に、創立125周年記念式典が行われます。同窓生のみなさんにもお越しいただき、同級生や恩師と懐かしい交流の輪を広げるとともに、現在の北陸学院の姿を見ていただきたいと願っています。

## 北陸学院大学短期大学部同窓会総会のお知らせ

日時：2010年5月15日(土)

2010年度の総会は、短期大学開設60周年の年にあたりますので、会員全員の総会といたします。また、学院創立125周年の年にあたりますので、皆様のご出席をお待ちしております。詳細は改めてご案内いたします。



## 母校からのメッセージ

大学及び短期大学部学生に対する「同窓会奨学金制度」を通じたみなさまのご支援に対し、大学教職員を代表し衷心より感謝申し上げます。

北陸学院大学は発足2年目に入りました。短期大学部からは3年編入生も受け入れました。5月1日現在、大学の人間総合学部幼児児童教育学科は1年から3年までの学生数が132名（内、男子21名）、社会福祉学科は69名（内、男子16名）となりました。

北陸学院大学短期大学部の食物栄養学科は1年から2年までの学生数が190名（内、男子6名）、コミュニティ文化学科は学生数が138名（内、男子3名）となりました。この結果、三小牛校舎では46名の男子学生たちが学んでいることになります。

本年4月から就任された大学教員は、幼児児童教育学

学長 三浦 正



科に公衆衛生学の高野 陽（たかの・あきら）教授、社会福祉学科に心理学の丸山久美子（まるやま・くみこ）教授、精神障害者福祉論の竹原利榮（たけはら・としえ）准教授の3名です。高野さんの今は亡きご夫人は、本学の食物栄養学科の前身、栄養専門学院でお手伝いくださったと聞いています。同窓生の中には思い出される人もいることでしょう。

本年度から「同窓生子女・孫 奨学金制度」が発足します。みなさんの子女あるいはお孫さんの、本学院幼稚園、小学校、中学校、高等学校、短大そして大学入学のいずれにも適用され、入学金の25%が免除されることになりました。この機会に本学院関係者多数の入学を期待しています。

## 大学で何を学ぶか

新聞記者を32年やったあと、大学教員に転じた。名古屋の新設大学に5年次いで京都に3年、そのあと東京の女子大に移り、昨春定年まで8年間勤めた。新聞記者のちょうど半分16年になる。ここで完全引退という時に北陸学院が4年制大学を作るからと声をかけてもらい、東京と金沢を往復している。ジャーナリストは世の中の動きと連動し、変化に富んでいたが、教員生活は人間との関わりだからそれ以上にやりがいがある。青春期の、まだ人間として成長期の学生たちと直に接し、喜怒哀楽をぶつけ合って影響しあえるからだ。一応、老人福祉論とか死生学が専門ということになっているが、私自身大学で福祉や死生学を勉強したわけではない。ジャーナリスト時代に「世間」から学んだことや経験したことを基に語り、講じているだけだ。福祉を専門に学んだ先生から見れば欠落だらけだろう。しかし、私は大学の4

副学長 早瀬 圭一



年間で「福祉」やその他の分野の専門を極めることなど有り得ないと思っている。せいぜい専門の入口に立つ程度だ。専門分野の勉強は大学を出てから一生続く。大学の4年間は「人間の基礎」を磨くところである。古今東西の古典や名作を読み、評判の映画を見てコンサートに行きゴッホやゴーギャンを鑑賞し「本物」を知ることである。前の大学では3年4年と続けて同じゼミで学ぶ。私は毎年15人の学生たちと真剣に向き合って親子や親友のような付き合いをした。同じ1冊の名作を読み、そこから何を得るのか、徹底的に論じ合わせた。揃って横浜のお好み焼き屋にも通った。大学教員と学生はそんな関係こそ本来の姿ではないか。「学問」ではなく「人生」の師と弟子でありたい。

## 里帰りの記

日本キリスト教教育学会を機に、久しぶりに里帰りをして三小牛の栄光台に立った。「白山に天の雪あり 医王山 次ぎて戸室も たけなわの秋」与謝野晶子の雄大なスケールの短歌をふと思い起こした。この丘は時々訪れる旅人には格別によい。そこに住む人にとっては、特に雪の多い冬など大変だろうと推測されるが。

今は四年制大学男女共学として、新しい歩みを始めているが、私が北陸学院保育短期大学に赴任した1959年頃には、校舎はまだ下本多町にあった。その場所も忘れがたく、空き時間を利用して訪ねてみた。現在は「金沢ふるさと偉人館」として新名所になっており、様子は一変していたが、かつて私が世話になった研究室は、窓だけが外見上昔のままの姿をとどめていた。

あの頃は学生数も少なく、万事は貧しく質素であったが、師弟間の交わりは密接で、教師としても、まことに楽しい日々で



上野 武

あった。毎朝行われたチャペルにもごく自然に全員が出席し、素直な気持ちで御言に聴き入った。古き良き時代というべきか。

私の来沢を聞き知った11回生の有志が、ミニ同窓会を企画して下さり、私の大好きな湯涌温泉を会場に定めて下さった。久しぶりにゆったりと温泉の湯につかり、共に祈り、食し、なごやかに語り合った。「八十路を前にして想うこと」という最終講義もプログラムの中に組み入れてもらい、嬉しい限りであった。参加した一人一人の顔の奥に刻まれた歳月の重さを感じながらも、総じて皆明るく、遅く生きておられるようで安心した。与えられたこのひと時を感謝すると共に、あの学び舎で培われた愛と祈りと学びの日々が、これからも皆さんの上に光と力を与えて下さるようにと切に祈るものである。



福永 麻紀さん

2002年度卒業  
人間福祉学科3回生

私が人間福祉学科に入学したきっかけは、高校生の時に福祉体験イベントに参加した際、そこで訪れた施設で目にした利用者さんと職員のとてもしょうな様子が心に焼きついたからでした。“私もそんな笑顔のあふれる仕事に就きたい！”と思い、早10年…現在はご縁もあり、その思い入れの施設で介護職員として働いています。

実際に仕事にしてみると、実習やボランティアでは分からない大変さ、難しさがたくさんあり、右往左往してしまうことも多々あります。そのような時、ふらっと短大へ遊びに行くと、いつまでもあたたかい笑顔で先生方が迎えてくださり、学校を卒業してもなお学校に自分の居場所を感じられ、とても勇気づけられます。

福祉の仕事について7年目に入りました。まだまだ学ぶことも多く、仕事に追われる毎日ですが、利用者さんの笑顔がみられると、この仕事に就いて良かったと、心から嬉しく思います。あの福祉の道へ入るきっかけとなったあの光景に一歩でも近づけるよう、これから初心を忘れず頑張っていきたいと思っています。

吉江 千里さん

1974年度卒業  
教養学科6回生

教養科を卒業して35年。呑気な学生だったハタチの娘は、自分の親を看取る年となりました。

三小牛山での月日を想うと、その中で社会の価値観がどのように変化しようとも決して変ることのない大切な事を教えて頂いたと思います。

自分が社会に出て、人の親となり初めてわかることがあります。どんな時も心おだやかでいる事がどれ程難しい事かというのもそのひとつでした。良い学生とはとてもいえぬ私を、諦めることなくご指導下さった先生方にはただただ感謝と申し訳なさがあるのみ。本当に先生方はいつもやさしくほほ笑まれそして心おだやかでした。

同窓会々報に文章をと請われ戸惑いましたが、こうやって卒業から35年を振り返る良い機会を得ました。

最後になりましたが、お世話になりました先生方、同窓会役員、会員の皆様にお礼申し上げます。有難うございました。

八木 典子さん

1980年度卒業  
英語学科16回生

最近、人生を振り返る機会があり、久しぶりにアルバムを取り出す。若く、キラキラ輝く笑顔の自分にご対面。友達に囲まれ、楽しそうにいろんな場所にいる短大生の自分。時には写真の中のやんちゃなお嬢さんに気持ちだけでも戻ってみるのもいいかも。あまり勉強はしなかったが、思い出は満載。学校から平和町までみんなで歌いながら歩いたことを思い出しながら、時々讃美歌を歌うと不思議と心が軽くなる。へこんだ

時は母校の前にたたずむ。山の木々は慰めてはくれない。風の音や枝を揺らして叱咤激励をしてくれた。この場所が私の癒しの場であり、奮起する場所であることは今も変わらない。いくつかの山と谷を越えて長い年月が過ぎていった。

現在は、金沢市内の会社で、役員の秘書業務や社内報の編集の仕事をしている。気持ちも生活もとりあえずは落ち着いて、趣味のフラダンスや唄を思う存分楽しみ、時々慰問に行かせていただいている。アルバムの中にあるかわいいお嬢さんたちと会って思い出話をするのも楽しみの一つになっている。

水野 洋子さん

1970年度卒業  
食物栄養学科7回生

私が勤務しています松寿園は、明治32年小松市内六ヶ寺の住職及び仏教徒により創設され、以来110年にわたり老人福祉を中心として地域社会に愛される施設、利用者様に健やかで幸せな毎日を送って頂ける明るい施設を目指して参りました。第二松寿園施設長として新生松寿園のビジョン①在宅福祉の推進②生活の場としての施設づくり③ターミナルケアを実現させるための事業計画を考えて参りました。人間相手のサービス業としてまずは人材育成。ここ数年「3K」のイメージがさらに浸透した感があり、ケア人材の活性化においてどのような視点からワークモチベーションを高め

てゆくか、いかに職員に働きたい・やりがいを提供できるか毎日頭を悩ませています。質の高い福祉の「担い手」を育成するための職業倫理に通じる、相手の身になって考える「老心」大海のように偏らない心「大心」他人のために事をなすことを喜ぶ心「喜心」は道元禅師の「典座」にある調理をする際の三つの心です。ここに私が食物栄養学科で学んだ原点があると日々感謝し、三小牛の美しい景色の中での教えがひとり一人のお年寄りを大切に思う心につながっていると感じています。

神崎 明子さん

1955年度卒業  
保育学科5回生

保母という名称に郷愁を感じながら、半世紀ぶりに「保育士」という職業に登録しました。ジェンダーフリーとなって、性別、国籍とわず新しい職種になりました。男性、アメリカ人、インド人らが明るい笑顔で保育に就いていました。園児らも楽しそうでした。

2009年5月思いがけないことから、近所にあるチャイルド園に昔、保母でしたと話しました。それではグランドマザーのつもりで0歳児を週2回、保育をしてほしいから、資格登録書を提出するようにいわれました。

保母という名称は、現在は通用していません。母校の事務局、石川県庁、若い日過ごした地の富山県庁、本籍地のある東京都などに問い合わせ、「保育士事務処理センター」(東京都渋谷区)に届けていないことが判明しました。自分がしていなかったのです。登録手数料4200円、取得まで、3ヶ月待ち。ついに私は無資格アシスタント。9月から有資格となり処遇が変わります。法改正は、お構いなし。時は進んでいるのです。



# 栄光台をたずねて

## ■ 幼児児童教育学科

### 四年制大学開学二年目を迎えて

幼児児童教育学科長 戸田 教一

開学二年目を迎える本年も無事新学期を迎えられたことを嬉しく存じます。皆様のお祈りとサポートの故に支えられ守られて今日に到っていることを感謝しております。さて、本年は編入生も加わり、三学年が同時進行という形になっています。

昨年後半から始めたプレ実習は、多くの方々が(約3割)就職先の現場でミスマッチを理由に離職する実態を受け、本学卒業生には、その轍を踏ませないようにとの願いと同時にコミュニケーション能力の向上をはかって実施しているものです。子どもたち、先生方、地域の方々、保護者の方々など、現場でのコミュニケーション能力はさまざまところで試されます。その時、自信を

もって対応できる指導者を育てたいと願っています。

また、子どもたちを愛し、子どもたちのために尽くせる指導者を育てたいと願っています。

資格は必要です。しかし、それは心がともなってこそ意味のあるものになります。「愛がなければ、無に等しい」とのコリントの言葉の通りです。

本年からは学生が主体的に学院生活に関わってくれていることも嬉しいことです。礼拝の司会・奏楽・進行などやエンジョイミッションでの活動などです。学びの充実のために更にご援禱いただければ幸いです。



## ■ コミュニティ文化学科

### 学科の現況

コミュニティ文化学科 准教授 池中 雅美

2005年度に開設されたコミュニティ文化学科は今年で5年目となり、約250名の卒業生を社会に送り出しています。毎年カリキュラムの見直しをおこない、学生や社会のニーズに応えられるよう、そして自立した学生の育成に努力しております。

今年度、新しくカナダ人の講師が着任し、アイルランド、スコットランドからの講師に加えて、現在、3人の外国人講師が、学生の指導に奮起しています。

また、地元の商工会議所の方たちに特別に授業に来て

いただき、イベントの企画等についての学びとプレゼンテーションの機会が与えられるなど、地域に貢献するべく学習内容を深めています。

昨年度の就職内定率は93%、また4年制大学への編入、専門学校への進学をした学生もおり、進路は多彩です。司書、幼稚園教諭、医療事務など取得した資格を活かして就職をしている学生も少なくありません。社会のそれぞれの場所での活躍が期待されます。

同窓生の皆様には、日ごろからご支援をいただき心から感謝しております。私も同窓生の一人として、微力ながらがんばっております。今後ともどうぞご支援のほどよろしくお願いいたします。

### 教材室だより

瀬戸 美江

大学の本館2階のつきあたりに私の勤務する教材室があります。ピンクのカーテンが揺れ、夏など窓を開け放つと、トンボや蝶々なども覗きに來ます。部屋の中



にはパペット、パネルシアター、ペープサート、絵話など、視聴覚教材がぎっしり。学生はもちろん、卒業生や

保育関係者の方々も借りに來ます。教材室はその度、ちょっとしたサロンになります。なによりこの部屋の主人公は色とりどりの教材たちなので、誰もが楽しめる空間です。私の仕事は貸し出しをしたり、教材の演じ方の指導をしたり、学生と一緒に教材作りをしたりなどですが、これからは他の学校が持っていない教材作りに挑戦しようと思っています。これからの大学は地域に溶け込んで、いろいろな場に積極的に参加してゆく必要があると思っています。その為には北陸学院大学らしい個性がなくてはなりません。そのためにほんの少し、お手伝いが出来たらと思っています。今年は大型絵巻物や、ボードビルに挑戦したいと思います。是非、皆様、お立ち寄り下さい。

## ■ 社会福祉学科

### 福祉における“こころ”の学び

人間総合学部社会福祉学科 講師 西村 洋一

4月より、本学科にも1年生から3年生までがそろいました。この1カ月余りあわただしくありつつも、充実した毎日をご過ごしております。学生たちの輝いた表情を見られるのがとても楽しいです。

本学科には、心理学関連科目を幅広く学べるカリキュラムが用意されております。「福祉」という分野は、他者との関わりがその根幹にある以上、小手先だけのものであってはならないと思います。いかに他者そして自分を理解し、いかにして他者と関わるのか。これらの「いかに」という部分について真摯に考え、実践に移す過程において、心理学の学びが必ず生きるという信念のもと、「こころ」についての教育に励んでおります。

本学科では、本格的な心理学教育のために、ライザー記念館の一室に心理実験室を設け、最新の心理学関連機器を設置しています。この点は、心理学に強い関心の持つ学生を十分満足させられる設備が整っていると自負するところです。また、心理系大学院への進学や資格取得のサポート、さらに、一般企業への就職を視野に入れた特別プログラムなど学生への支援体制も充実しております。



このような態勢のもと、学生教職員一同日々学問に勤しんでおります。同窓会の皆様より暖かいご支援をいただければ幸いです。

.....

## ■ 食物栄養学科

### 「生きる力」を支える食育

食物栄養学科 准教授 辻 直人

昨年4月より本学科の教員として赴任いたしました。栄養教諭2種免許を取得する学生のための教職科目（教育原理、教育者論など）を主として担当しています。私の専門は教育学・日本教育史で、栄養教諭の養成や食育に関わる仕事をさせていただくのは、実は初めてのことでした。しかし、ここでの仕事を通じて、食育の重要性を痛感いたしました。

一口に「食」と言っても、実に豊かな内容を持ってい

ます。日々の栄養バランスや健康維持のための指導は勿論、「いのち」を食べて生きていることや、栽培・流通などを通じての人とのつながりを具体的にイメージしていくことも重要なテーマと考えます。つまり、食育は「生」そのものを根本から考える教育だと、私は捉えています。学生の皆さんには、食育の奥深さを知ってほしいと願っています。

culture（教養・文化）と言う言葉は、「耕す」(cultivate)と同じ語源とされています。土を耕すように、心を耕すことが大学での学びの務めと受け止め、学生と共に楽しみながら学んでいくことを日々心がけています。今後ともご支援よろしくお願いたします。

## クラブ紹介

### Sweets R&D club～製菓研究開発部～

部長 国沢 綾香  
(食物栄養学科2年)

製菓研究開発部は、現在2年生15人、1年生3人の18人で活動しています。私たちは毎週水曜日の16時から18時まで、社会人学生で本学食物栄養学科2年、パティシエでもある野村京子さんに、スイーツの基本操作から応用操作、また素材の特性についてなど様々なことを教えていただき、日々技術を磨いています。週1回で2時間という少ない活動時間ですが、授業とは違う視点から



素材について考えを深め、楽しみながら研究・開発を行っています。

今春には、部活の中から7人のメンバーによるプロジェクトチームを発足し、内川たけ

のご祭りやEnjoy!ミッションといった地域のお祭りに参加させていただきました。自分たちの考案したスイーツを多くの人に知っていただき、食べて美味しいと言われてもらえるのはもちろん、このように充実した活動が思いきりできることに感謝の気持ちで一杯です。

これからも、栄養や健康について科学的に分析しながら地元食材を用いたスイーツを通し、幅広い知識を習得していきたいと思っております。また、この活動が少しでも地域の活性化につながればよいと考えています。

製菓研究開発部は結成してまだ間も無いですが、頑張っていきますのでご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。



タケノコのタルト  
フキとつつじの花のジャムのロールケーキ他

◇ 2009年度総会報告 ◇

2009年5月16日(土) 開催 於 レストランMEGU

同窓会には取り組むべき活動が種々あるのですが、現在私たちの会は、短期大学部と昨年発足した大学を一体のものとして支援していくことに主眼点を置いています。



その面から今年も楠本学院長をはじめ、各部・学科長の先生方、新任の丸山久美子教授がそれぞれご多用の中ご出席くださり、お話しの中から今何が最も必要とされているかを私どもが知り得たのは幸いであったと思います。特に1人でも多くの入学者を得ることに私たち同窓生の関心と協力が求められていることをお覚えください。

【総会次第】

- 礼拝 奨励「神の手応え」マルコによる福音書5章25-34
学院長 楠本史郎先生
挨拶と先生方の紹介
副学長 朝倉秀之先生
映像とお話 「柿木島に見られるかの私どもが知り得たのは幸いであったと思います。特に1人でも多くの入学者を得ることに私たち同窓生の関心と協力が求められていることをお覚えください。」
人間総合学部学部長 富岡和久先生
挨拶 同窓会会長 森 正栄

【議事】

- ① 2008年度活動報告
② 2008年度決算報告と監査報告
③ 役員選任
新会長 相坂国栄 挨拶
④ 2009年度活動予定案審議
⑤ 2009年度予算案審議
⑥ その他「同窓会奨学金」規程変更の件

◆懇親昼食会

- ☆ ミス・ポーター墓碑建立
有志、米国訪問報告
☆ 北陸学院校歌 斉唱



出席者数 同窓生：54 招待者：9 計63名

2009年度 北陸学院大学短期大学部同窓会役員名簿

Table with columns: 氏名, 卒業学科(現名簿), 職名. Lists names and titles of board members and staff.

【2008年度(2008.4.1~2009.3.31)活動報告】

- 2008.5.17(土) 第8回同窓会総会 於 レストランMEGU
出席者数：教職員14名・同窓生49名 計63名
2008.6.14(土) 北陸学院大学 開学記念式典・記念講演 於 金沢歌劇座
同窓生全員に招待状が送られ、役員・幹事・同窓生が出席
2008.6.20(土) 会報「栄光台の薫風」第8号発行 送付
2008.10.30(木) 「北陸学院大学・短期大学部 栄光祭」同窓会賞授与式
2008.11.1(土) 「栄光祭」蚤の市開催 於 ライザー記念館1F
2008.12.13(土) クリスマス会 於 ライザー記念館1F
礼拝 奨励 白銀教会 野崎卓道牧師 出席者23名
2009.3.16(月) 同窓会入会式(卒業感謝礼拝後) 新入会員241名

【2009年度(2009.4.1~2010.3.31)活動予定】

- 2009.4.11(土) 新旧役員会
2009.4.25(土) 役員会・幹事会
2009.5.16(土) 第9回同窓会総会 於 レストランMEGU
2009.7上旬 会報「栄光台の薫風」第9号発行
2009.10.29(木) 同窓会賞授与式(大学祭開会礼拝に引き続き)
2009.10.31(土) 蚤の市(大学祭に併催)
2009.12.5(土) クリスマス会 於 ライザー記念館
2010.3.15(月) 同窓会入会式(卒業礼拝に引き続き)

2008年度 北陸学院大学短期大学部同窓会 収支決算報告書

Table showing financial summary for 2008 fiscal year. Columns: 科目, 2008年度予算額, 2008年度決算額, 備考.

Table showing detailed financial breakdown for 2008 fiscal year, including expenses and income.

Table showing financial summary for 2009 fiscal year (forecast).

Table showing detailed financial breakdown for 2009 fiscal year (forecast).

Table showing financial summary for 2009 fiscal year (forecast).

Table showing detailed financial breakdown for 2009 fiscal year (forecast).

Table showing financial summary for 2009 fiscal year (forecast).

Table showing detailed financial breakdown for 2009 fiscal year (forecast).

Table showing financial summary for 2009 fiscal year (forecast).

Table showing detailed financial breakdown for 2009 fiscal year (forecast).

Table showing financial summary for 2009 fiscal year (forecast).

Table showing detailed financial breakdown for 2009 fiscal year (forecast).

Table showing financial summary for 2009 fiscal year (forecast).

Table showing detailed financial breakdown for 2009 fiscal year (forecast).

監査 須加=葉子
監査 池中雅美

CLICK! 大学・短大通信

Open Campus'09 開催カレンダー'09

**見学型** キャンパスをちょっとのぞいてみたいという人は、見学型のオープンキャンパスにどうぞ。大学生活について話を聞いたり、施設を見たりして、学院の雰囲気を感じてください。  
学科・資格の概要説明／キャンパス見学／個別相談など

**体験型** 見るだけじゃものたりないという人は、体験型オープンキャンパスにどうぞ。模擬授業を受けたり、大学行事に参加したりして、ひと足先に大学生気分を味わってください。  
見学型メニューのほかに模擬授業／学校行事参加 職場体験学習／学友会・クラブ紹介／卒業生体験談など

	日付	時間	内容
見学型	6/20(土)	13:00~16:00	学科別の説明会やキャンパス見学を実施します。クラブ活動の紹介もあります。
体験型	7/18(土)	10:00~15:00	学科説明や在生も参加する模擬授業を実施します。
体験型	8/1(土)・3(月)	10:00~15:00	学科説明や模擬授業を実施します。保護者の方も参加することができます。
体験型	8/22(土)	10:00~15:00	卒業生の職場体験談や学生生活での思い出話を聞くことができます。将来をイメージしてみてください。
体験型	9/12(土)	10:00~15:00	学科の説明のほか、入試対策講座を実施します。
見学型	10/31(土)	10:00~15:00	大学祭をのぞいてみませんか? 模擬店や催事コーナー、進学相談コーナーなどがあります。
体験型	12/5(土)	13:00~16:00	学科説明はもちろん北陸学院ならではの特色あるクリスマス行事の体験などを実施します。

※実施内容は変更になる場合がありますので詳細はホームページでご確認ください。

**無料送迎バス** オープンキャンパス当日は、金沢駅より無料送迎バスを運行いたします。富山、福井、小松方面からの無料送迎バスも予定しています。  
日程によって内容は異なります。詳しい情報は、北陸学院大学ホームページまで <http://www.hokurikugakuin.ac.jp/>  
【お問い合わせ先】 北陸学院大学 入試広報課 〒920-1396 金沢市三小幡町11番地  
TEL&FAX 076-280-3855 E-mail nyushi@hokurikugakuin.ac.jp

特待生制度・奨学援助制度

- 特待生制度 成績優秀上位者を選考
- 奨学援助制度 家賃補助制度、同窓生子女・孫奨学金制度、一人親家庭等援助制度、指定校推薦入試奨学金制度(人間総合学部)、経済支援奨学金制度など。詳細は北陸学院大学入試広報課までお問い合わせください。

北陸学院大学公開講座(REDeCセミナー)が開催されます。皆様の参加をお待ちしております。詳細はリーフレットをご覧ください

○管理栄養士国家試験受験対策講座(入門編)

次のように管理栄養士国家試験受験対策講座を計画しております。日程等の詳細は8月以降に本学のホームページに掲載しますのでご覧ください。

開催日程: 2009年9月19日(土)、9月26日(土)、10月10日(土)、17日(土)、24日(土)、11月7日(土)  
各日午前・午後の12回

場 所: 北陸学院大学

参加費用: 本学卒業生は無料ですが、教材費及び資料代が必要になります  
尚、1月下旬より2月にかけて2回目の受験対策講座を計画しております。詳細は12月以降に本学ホームページに掲載します。

退職された先生方

人間福祉学科 道下 千春 助 教 保育学科 熊田 凡子 実験実習助手  
コミュニティ文化学科 クレイ・ウッズ 講 師

◆新刊案内

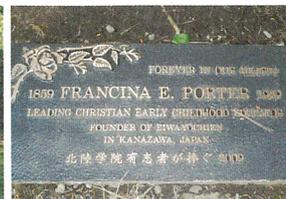
『キリスト教小誌』歴史編纂室長 梅染信夫先生の新著  
(学院関係者特価: 2,000円 問い合わせ: 法人本部高田)

ミス・ポーターの墓碑建立

ポーター研究所の「1コイン募金」でミス・ポーター(英和幼稚園: 現第一幼稚園創設者)の墓碑ができました。3月22日~27日まで墓碑建立式典に15名で参加しました。

ミス・ポーターの墓は、サンガブリエル墓地にあります。当日は、抜けるような青空の下、墓地管理の方が用意してくださった、テントや椅子のおかげでとても良い式典ができました。現地の新聞にも掲載され、それを見た、日系人の方も式典に参加されました。

5日間でしたが、メリー・ヘッセルの墓にも立ち寄ることができ、充実した旅になりました。



# 同窓会よりのお知らせ

## 北陸学院大学短期大学部同窓会奨学金規程に関するお知らせ

同窓生の皆様方には、例年母校の在学生が学びの実を豊かに結べる様にと願い、奨学金献金、並びにクラブ活動援助金献金を以てお支払いしておりますことを、心より感謝申し上げます。

しかし、この会報の中、総会報告欄の収支決算報告書、特別会計支出の部科目、奨学金は「該当者なし」となっております。この状況は過去3カ年続いている事により、役員会では今年の実状に適した活用の方法を検討していくこととなりました。

折良く時を同じくして、北陸学院当局におかれましても、納付金減免規定及びスカラシップ制度に関する見直しを、又特に大学では学生確保のための経済支援に関する制度を検討中であります。

そこで大学（窓口は学院法人本部事務局長）と協議を重ねる中、従来の奨学金規程にある奨学金（最終学年度後期授業料の50%）と並行して、入学金（260,000円）の50%を2名に給付することを提案されました。

現下の社会状況から、本学へ入学を希望するも経済的理由により修学が困難な学生に対しての援助は学生募集の一助ともなり、有効な活用となると受け止め、役員会にて可決承認致しました。

尚、奨学金規程細則内には、次の条文が明記してある事を、ここに提示させていただきます。

- (奨学金の受給資格) (1) 奨学金を受けて卒業若しくは入学する意志が明確なこと  
 (2) 学業成績、人物ともに優秀でかつ健康であること
- (採用人数) 奨学生の採用人数は、毎年2名を超えることがないものとする。
- (申請手続き) 奨学金を受けようとする者は、次に掲げる書類を学長に提出しなければならない。  
 (1) 申請理由書 (2) 所得証明書等その他必要な書類

「人をつくる大学・短期大学」の理念の基、豊かな人間性と高い専門知識を有する多くの人材育成のために、私達同窓生は支援の祈りを献げましょう。

前会長 森 正栄

## 一感謝一 奨学援助資金のための献金をお寄せいただいた方々 (2008年6月～2009年5月)

久保 澄子 (保育 3)	深谷 英子 (保育 12)	佐々木 恵 (保育 51)	浜本富士子 (食栄 1)	田中 美子 (食栄 5)	内田 識子 (英語 19)
森 正栄 (保育 4)	中西 節子 (保育 12)	木下絵里衣 (保育 54)	高田 豊子 (食栄 1)	久家三恵子 (食栄 6)	横山 康子 (教養 1)
野島 容子 (保育 4)	茶幡 昌子 (保育 12)	佐武 順子 (栄専 2)	伊藤 秀子 (食栄 1)	藤森 俊子 (食栄 6)	戸井 康子 (教養 6)
小川 和子 (保育 4)	今井真喜子 (保育 13)	年田 昭子 (栄専 5)	久木 嘉子 (食栄 4)	新澤 祥恵 (食栄 6)	高井 章子 (教養 14)
保育科5回生 (保育 5)	小川 澄恵 (保育 16)	米 久美子 (栄専 8 ご遺族より)	小杉 直子 (食栄 4)	新保 礼子 (食栄 16)	山崎 京子 (教養 22)
加藤美奈子 (保育 6)	小林 湊子 (保育 17)		斉藤美智子 (食栄 4)	西田 櫻子 (英語 6)	正村 知香 (福祉 1)
山敷 紀子 (保育 6)	新山 晶代 (保育 17)	大原 悦子 (栄専 8)	高井 明子 (食栄 4)	藤田 幸子 (英語 12)	
東田 恵子 (保育 7)	羽田 静代 (保育 18)	波多野由美子 (栄専 9)	三井 玲子 (食栄 4)	神戸 敏恵 (英語 14)	
江尻美根子 (保育 12)	永野 明子 (保育 26)	片山 てる (栄専 10)	金子 量子 (食栄 4)	小崎 悦子 (英語 16)	

ご芳名もれがありましたら事務局へお知らせ下さい。

計 50名 総額 251,000円

## 北陸学院大学短期大学部同窓会

### のみいち 蚤の市

栄光祭の一般公開にあわせて今年も秋に開催されます。

- 日時 2009年10月31日(土) 午前9:30～売り切れ次第終了
- 場所 北陸学院大学キャンパス内

～ご家族、ご友人お誘い合わせお越しください～

コーヒー/紅茶/手作りクッキー・ケーキもあります。懐かしい方々との再会をお楽しみください。

### ぜひ 献品にご協力ください!

9月初旬～10月中旬～

- ★ 献品の品 ★ 日用雑貨品、衣類等 (新品のものをお願いします)
- ★ 献品の方法 ★ 同窓会事務局へ持参または郵送 (短期大学部同窓会事務局宛)



## クリスマス礼拝

日時 2009年12月5日(土) 午後1:30～(受付1:00～)

場所 三小生キャンパス内 北陸学院大学 キャンパス内



礼拝後に教材室(大学本館2階)でクリスマスカード作りを計画しています。(実費500円程度ご負担下さい) 共にイエスさまのお誕生日を覚え「喜びと感謝のひととき」を過ごしたいと思っております。皆様のご参加をお待ちいたしております。



## 同窓会事務局より

同窓会の活動に関するご質問・ご要望・ご提案などがございましたら、どんなことでも同窓会事務局までお寄せください。

- ◇ 開室日: 毎週月曜日、水曜日、金曜日
- ◇ 開室時間: 午前9時～16時
- ◇ 事務担当者: 黒杉 茂子

### 【住所等変更のご連絡について】

①氏名(旧姓) ②卒業学科名、年度 ③住所 ④電話  
を明記の上、書面、ファックス、メールのどれかでご連絡ください。お電話でのご連絡は受付かねますので、ご協力のほどよろしくお願い致します。  
町村合併に関する住所変更については、県内に関しては追い追い更新しておりますが、県外に関しては、なかなか手が回らない面もありますので、お気づきの点ございましたら、ご一報お願いします。

※会員名簿については個人情報保護法にもとづき、事務局で責任をもって管理しております。

■編集後記 多くの皆様のご協力をいただき、「栄光台の薫風 第9号」を発行できますことを心より感謝いたします。ご寄稿下さいました先生方や同窓の皆様へ厚くお礼申し上げます。母校が大きな節目を迎える中、同窓会も相坂新会長のもと新たな歩みを刻み始めました。今後、より一層、母校及び同窓会を身近に感じていただき、更なるご理解をいただけるよう、ご意見やご要望がございましたら何なりとお寄せいただければ幸いです。(編集委員: 吉國厚子 敷波智子 新澤祥恵)

2009年7月1日発行  
発行: 北陸学院大学短期大学部同窓会  
〒920-1396 金沢市三小生町11番地  
ライザー記念館内  
TEL/FAX 076-280-3830  
E-mail/jcog@hokurikugakuin.ac.jp  
印刷: 活文堂